



スーパーフルトレーラ SF25 の運行区間を宮城県まで伸長

ヤマト運輸株式会社（本社：東京都中央区・代表取締役社長 栗栖 利蔵 以下、ヤマト運輸）は、新たにダブル連結トラック「スーパーフルトレーラ SF25（以下、SF25）」を2台導入し、現在の運行区間である関東(神奈川県)・関西(大阪府)・九州(福岡県)間に加え、2020年10月9日(金)より東北(宮城県)まで運行区間を伸長します。

記

1. 背景と経緯

物流業界では、幹線輸送を担う大型トラックドライバーの不足や高齢化が進んでおり、人材確保が一層困難になることが見込まれています。

国土交通省はトラック輸送の効率化を推進するため、2016年9月に「ダブル連結トラック実験協議会」を設立し、国家的な経済課題である物流業界の人手不足への対応策として2019年1月には車両長の基準を最大21メートルから25メートルまで緩和するなどの施策を実施してきました。

ヤマト運輸は2017年9月にダブル連結トラック SF25 を導入、2019年3月には、一般社団法人全国物流ネットワーク協会の会員4社（西濃運輸、日本通運、日本郵便、ヤマト運輸）による共同輸送を関東(神奈川県)-関西(大阪府)区間で開始しました。そして2019年8月の国土交通省によるダブル連結トラック対象路線の拡充決定を受け、本年3月に九州(福岡県)まで運行区間を伸長しております。

今回ヤマト運輸では、本年10月9日から運行区間を伸長し、関東(神奈川県)-東北(宮城県)間の SF25 による長距離運行を開始します。

2. 取り組みの概要

(1) 取り組み内容

現在 SF25 が運行している厚木ゲートウェイ(以下、厚木 GW)、関西ゲートウェイ(以下、関西 GW)、福岡ベース間に加え、新たに2台の SF25 を導入し、厚木 GW から宮城ベースまでの幹線輸送を開始します。

【運行のイメージ】



【今回伸長する関東、東北間の運行スケジュール例】

- 19:00 トラクタとトレーラを連結し、
宮城ベース（または厚木 GW）を出発
- 1:00 厚木 GW（または宮城ベース）に到着

※毎日運行します。

※運行スケジュールは一例であり、日中の運行など上記と異なる場合があります。

(2) メリット

SF25 の導入によって、積載量が従来の大型トラックの 2 倍となり、1 度に大量の荷物が輸送可能となるため、特にトラックドライバーの不足が顕著である長距離輸送をこれまでより少ない人数で運行可能となります。またトラックの運行回数が減少することで CO2 の排出量低減にもつながり、地球温暖化の低減にも貢献します。

(3) 運行開始日

2020 年 10 月 9 日 (金)

3. 今後について

物流業界全体で幹線輸送のさらなる効率化を実現できるよう、引き続き SF25 の効果的な運用を推進していきます。

【参考】

ヤマト運輸ニュースリリース：スーパーフルトレーラ SF25 を活用した共同幹線輸送の開始について
(2019 年 3 月 28 日)

http://www.kuronekoyamato.co.jp/ytc/pressrelease/2019/news_190328.html

国土交通省ニュースリリース：「ダブル連結トラック」の対象路線を拡充
(2019 年 8 月 8 日)

http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001209.html

ヤマト運輸ニュースリリース：スーパーフルトレーラ SF25 が関東-関西間の運行区間を九州まで伸長
(2020 年 3 月 10 日)

https://www.kuronekoyamato.co.jp/ytc/pressrelease/2020/news_200310.html

以上